

**A**

**農政課長**

本村宮内線の林道整備は平成20年度に土地を取得して8月10日に着手し、2期工事も本年度末までにはJ R 豊肥線越えの林道が整備される。間伐事業も森林組合を通じて18ヘクタールを終えている。その上広葉樹種の混植事業も立野地区の住民と話を進めている状況である。加えて熊本県の事業となる為に、保安林指定の話を進めている所である。

**A**

**建設課長**

里道の被害については、地区民協議の上、復旧に努める。請願書の急傾斜対策については砂防対策事業、急傾斜地崩壊対策事業を熊本県とも採択基準等で困難な状況ではあるが協議を進めている。

**A**

**村長**

害を防ぐ為にも専門的知識の調査が必要と考える。さらに関係各方面とも協議し一刻でも早く住民が安心できる様な方向を目指したい。



根こそぎ現れてしまいました

防災計画を定めるにも、ハード的事業を行なうにしても2次災

## 小堀 孝二 議員



### 指定管理者の選定方法、基準は

**Q**

第三セクターの指定管理は、公募で選定していく重要性があるが、その選定方法、基準、審査過程、結果の透明性を問う。

**A**

**総務課長**

選定委員は、条例に基づき副村長「委員長」と8名の委員で書類審査、プレゼンテーション、ヒアリングを実施し審査の結果をホームページ等により公表したいと考える。また審査は、マニュアルを作り厳正に公平に点数付けで選定したいと考えている。

**A**

**村長**

今回の契約は、5年間の期間があり安心して運営を委託出来るので、そのところをしっかりと見極めて公明・公平に選定作業をお願いしたい。

### 下岸野橋の調査結果について

**Q**

高額の調査費用をかけた調査結果はどうなっているのか。

**A**

**建設課長**

幅員が2メートル程度で築50年以上経過しており非常に危険との結果が出た。そこで河川管理者の熊本県と協議を持ち河川法・河川管理施設等構造令・工作物設置許可基準他多面で検討の結果、河川法により、既設の橋梁の維持補修は困難であり新設以外に方法はないとの結論が出た。

**A**

**村長**

色々と検討しているが、架け直すには相当の事業費を要するため、河川局とも協議し、できるだけ架け替えの方向で考えたいので、時間をいただきたい。

